

- 技術研修 第11回
UNIXコマンド編

● 目次

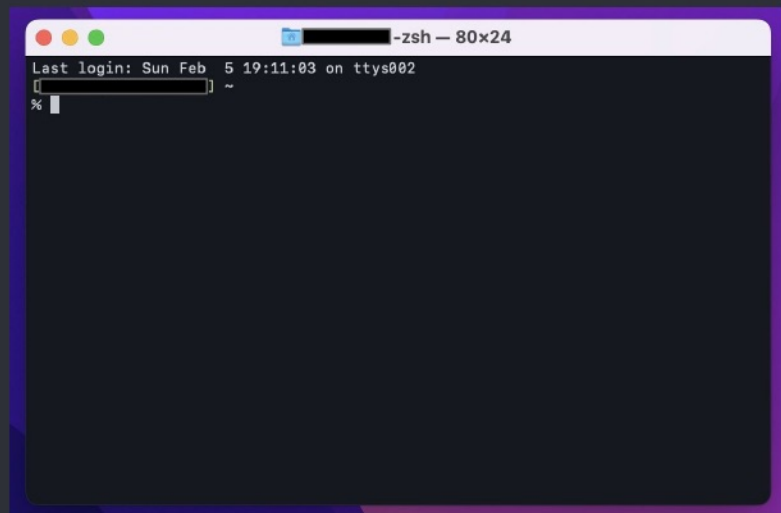
- UNIXコマンドとは
 - いろいろコマンド紹介
 - 演習① 調べながらコマンドを使ってみる
- プロセスとは
 - プロセスを見たい→ psコマンド
 - プロセスを終了させたい→ killコマンド
- リダイレクト、パイプ
 - 演習② ワンライナーで書いてみる
- シェルスクリプト



UNIXコマンドとは

● UNIXコマンドとは

- macOSやLinuxなどで利用できる
- CLIを通してPCに送る命令
- ターミナルから打ち込んでいるアレです！



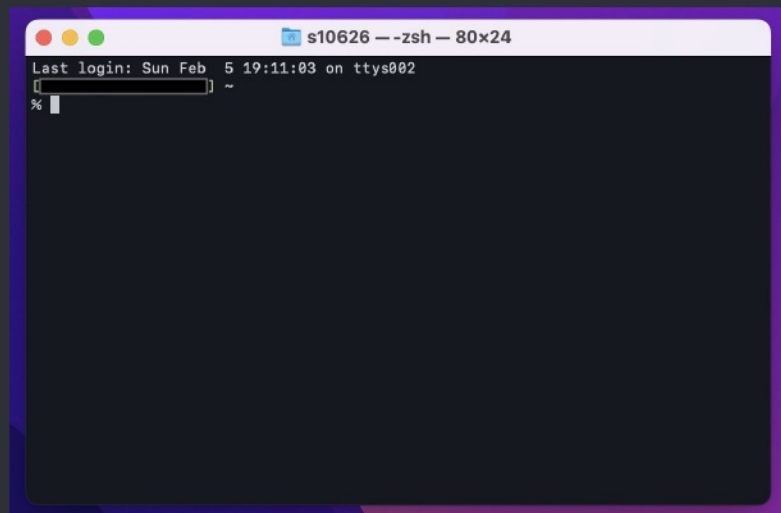
```
-zsh -- 80x24
Last login: Sun Feb  5 19:11:03 on ttys002
[ ] ~
% |
```

● UNIXコマンドとは

- macOSやLinuxなどで利用できる
- CLIを通してPCに送る命令
- ターミナルから打ち込んでいるアレです！

ちなみに、みなさん普段どれくらい

UNIXコマンド使ってますか？



● いろいろコマンド紹介

○ 基本的なもの

ls, cd, mv, cp, rm, mkdir, ...

ちょっとした作業で使うもの

echo, cat, head, tail, less, touch, ...

いろいろあると思いますが、

今回は「うまく使えると便利なもの」に注目して紹介します！

- いろいろコマンド紹介 ～よく使う系～

- grep

対象のファイルから指定の文字列を含む行を見つける

```
grep [options] [pattern] [file ... ]
```

ログから特定の出力を見つけたい時など、結構使います！

後で話しますが、正規表現も使えるので便利

● いろいろコマンド紹介 ～よく使う系～

○ WC

ファイルの行数、文字数などを調べる

```
wc [options: -clmw] [file ... ]
```

-c: バイト数

-l: 行数 ←これを使うことが多い。csvファイルに使えるレコード数がわかる

-m: 文字数(マルチバイト文字を1としてカウント)

-w: 単語数

- いろいろコマンド紹介 ～よく使う系～

- sed

文字列の置換など、テキスト編集処理ができる

```
sed [options] [command] [file ... ]
```

-i: ファイルに上書きする

例: test.csv内の「hoge」を「fuga」に置換する

```
sed -i -e "s/hoge/fuga/g" text.csv
```

- いろいろコマンド紹介 ～よく使う系～

○ **tr**

文字列の置換や削除ができる

置換

```
tr [文字1] [文字2]
```

削除

```
tr -d [文字]
```

- いろいろコマンド紹介 ～データファイルいじる系～

○ q

csv, tsvファイルをテーブルとして扱い、select文などクエリを実行できる

yq

yamlファイルからのデータ取得や編集ができる

jq

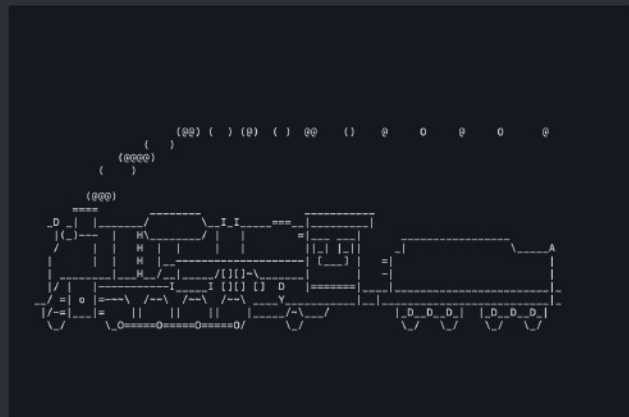
jsonファイルからのデータ取得や編集ができる

- おまけ

- slコマンド

機関車がターミナルを走り抜ける

こいつが表示されたらいったん休みましょう





プロセスとは

● プロセスとは

- プログラムやコマンドを実行することで生まれる処理
- PC上では様々なプロセスが並行して走っており、これをOSが管理している

- 例えば、lsコマンドを実行するとlsコマンドのプロセスが生まれる。処理が終わるとプロセスも終了する

- プロセスを見たい→ psコマンド

```
[ ] ~  
% ps ax  
PID  TT  STAT      TIME COMMAND  
  1  ??  Ss       75:57.13 /sbin/launchd  
 77  ??  Ss       29:16.61 /usr/libexec/logd  
 78  ??  Ss        3:57.78 /usr/libexec/UserEventAgent (System)
```

- プロセスを終了させたい→ killコマンド

```
[ ] ~  
% sleep 3600 &  
[1] 43992  
[ ] ~  
% ps  
  PID TTY          TIME CMD  
30243 ttys000    0:47.74 -zsh  
62918 ttys001    0:00.26 -zsh  
43786 ttys002    0:00.14 -zsh  
43992 ttys002    0:00.00 sleep 3600  
[ ] ~  
% kill 43992  
[1] + terminated  sleep 3600  
[ ] ~  
% ps  
  PID TTY          TIME CMD  
30243 ttys000    0:47.74 -zsh  
62918 ttys001    0:00.26 -zsh  
43786 ttys002    0:00.14 -zsh  
[ ] ~
```




リダイレクト、パイプ

● リダイレクト

- コマンドの入出力先をファイルに変える
- “<” を使って入力ファイル名を指定
- “>” を使って出力ファイル名を指定
- ちなみに
 - “>” ... ファイル上書き
 - “>>” ... ファイルに追記

```
[ ] ~  
[% echo hoge  
hoge  
[ ] ~  
[% echo hoge > test.txt  
[ ] ~  
[% cat test.txt  
hoge
```

● パイプ

- コマンドの出力を別コマンドの入力としてつなぐ
- “|” を使ってコマンドとコマンドをつなぐ

```
% ls master/*.csv | wc -l  
670
```

- いろいろコマンド紹介 ～パイプと組み合わせる系～

- xargs

渡されたリストの要素1つ1つに対して指定のコマンドを実行

例

```
ls | xargs rm -rf
```

私がよくやるやつ

```
git tag | xargs git tag -d
```

ローカルに溜まってるgitタグを全て消す



シェルスクリプト

● シェルスクリプト

○ UNIXコマンドだけで完結させたいけど、
処理が複雑だし変数も多い...

→シェルスクリプトを書くのがおすすめです！

- if文やfor文、関数を使って処理を構造化できる
- 書き方はちょっとクセあり

```
1  #!/bin/bash
2
3  for i in `seq 1 5`; do
4      if [ $i -ge 3 ]; then
5          echo $i
6      fi
7  done
8  |
```

● シェル変数

- イコールで値を代入
- 「\$」を変数名の前につけて値を参照
- `ls` のように「`」で囲うとコマンドの結果が取れるので
コマンドの結果を保存したい時などよく使う

```
[ ] ~/test
% HOGE=test_string
[ ] ~/test
% echo $HOGE
test_string
[ ] ~/test
% HOGE=`ls`
[ ] ~/test
% echo $HOGE
test01.txt
test02.txt
test03.txt
```

● if文

- [...] が条件式になっている
- [] はtestコマンドに書き換え可能

testコマンドのオプションを調べれば
いろいろな条件式が出てくると思います

```
HOGЕ=3
```

```
if [ $HOGЕ -eq 3 ]; then  
    echo "3です"  
elif [ $HOGЕ -ge 4 ]; then  
    echo "4以上です"  
else  
    echo "その他です"  
fi
```

```
if test $HOGЕ -eq 3; then  
    echo "3です"  
elif test $HOGЕ -ge 4; then  
    echo "4以上です"  
else  
    echo "その他です"  
fi
```


● for文

```
for i in "hoge" "fuga" "piyo"; do
|   echo "${i}です"
done
```

- inの後に指定したリストから1つずつ取り出してループする
- 下の例では、lsコマンドの結果を1つずつ出力している

```
for file in `ls`; do
|   echo "${file}"
done
```

関数

- 関数名 () {} で定義
- \$@で全ての引数を、\$nでn番目の引数を参照する
- コマンド実行時のように、引数を横に並べて関数を呼ぶ

```
test_func () {  
    echo "this is test.  first arg is $1"  
    for arg in $@; do  
        echo "${arg}"  
    done  
}
```

```
test_func hoge fuga piyo  
# $1 -> hoge  
# $2 -> fuga  
# $3 -> piyo  
# $@ -> hoge fuga piyo
```

● 最後に

○ こんな時はUNIXコマンド、シェルスクリプトの出番かも

- GUIが使えない環境でちょっとした作業を一括で実行したい
- 決まった作業を自動化したい
- CRLしたい

個人的に思うUNIXコマンドやシェルスクリプトのメリットは、環境構築ナシで大抵のことはできるところかなと思っています(pythonとかの方が自由度は上がるけど、ライブラリ入れたりバージョン気にしたりが面倒臭い)